

## ようこそ私立幼稚園へ

神奈川県私立幼稚園連合会で発行している会報「神私幼」父母の会版を加盟園保護者の皆様にお届けします。

### 会長就任あいさつ

神奈川県私立幼稚園父母の会連合会

会長 田中千鶴



日頃より、各園の園長先生をはじめ事務局の方々や関係者の皆様には、幼児教育・保育の質向上のためご尽力いただき、心より感謝申し上げます。

また、加盟園会員の保護者の皆様には、当会活動にご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。そして、日々の子育て本当にお疲れさまでございます。

本年度、神奈川県私立幼稚園父母の会連合会の会長を務めさせていただいております、横浜市泉区 善隣館幼稚園の田中千鶴と申します。

6月に県内の5地区12協会より選出された代表保護者が一堂に会し、委員総会が行われました。その中で8名の新常任委員が決まり新年度の活動がスタートしました。神奈川県私立幼稚園連合会の先生方と協力して、子どもたちの育ちや学びの環境がより良くなるよう、意見交換や保護者向けの研修大会を開催するなどの活動をしていきます。

常任委員として集まるメンバーは園も地域も違う初対面の方がほとんどですが、会話の中では子どもを中心とした日常の話題で共感したり笑い合ったりと、すぐに距離が縮まって和気あいあいとした雰囲気の中で活動しております。

そうした保護者同士の会話の中でよく出る話題は、YouTube問題です。どんなコンテンツを見るか、どのくらいの時間見ているか、視聴を終わりにする時すぐに切り替えられるかなど。手軽に動画を楽しめる半面、悩みも多々あります。

そして、デジタルな時代に生まれた現代の子どもたちは簡単に情報にアクセスでき、ボタン一つ、声一つで作動する便利なモノに囲まれた環境で育っています。

しかし、自分の力で考えて行動しなくても済んでしまう便利さは、子どもたちの実体験の機会を減らしています。五感を使った実体験は、子どもたちが生涯を生き抜くために必要な思考力や判断力、表現力などを培い、体験を通して得られる本物の感覚は、あらゆるものが複雑かつ多様化する予測困難な時代に必要不可欠な力とも言われています。

幼児教育を通して子どもたちがたくさんの実体験をし、心身共に健やかに成長していけるよう、園や家庭、地域が連携協力して支えていくことが大切です。

皆様のご理解ご協力を賜りながら、今できることに精一杯取り組んで参りますので、どうぞよろしくお願いいたします。

### 未来人材ビジョン

公益社団法人神奈川県私立幼稚園連合会

会長 木元 茂



現在、文部科学省では新しい学習指導要領の改訂作業を進めています。ほぼ10年に一度改訂されていて、「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」の考え方も徐々に浸透してきて、次のステップに向かうべく議論がなされています。

今、小学校ではタブレットを使用した授業になっていますが、今後は生成AI（人工知能）なども取り上げるような議論もされているようです。「カリキュラムオーバーロード」（教える内容の過積載）の現在の学校現場においては、先生たちの働き方も考慮し、国があまり縛りすぎず地域や学校、先生に裁量を与えて、多様な特性を持つお子さん一人一人の可能性をさらに伸ばしたいという思いを尊重して欲しいものです。

国（経済産業省）が未来の人材のために、教育制度をこうした方がよいという提言「未来人材ビジョン」を作りました。次の社会を形づくる若い世代に対しては、「常識や前提にとらわれず、ゼロからイチを生み出す能力」「夢中を手放さず一つのことを掘り下げていく姿勢」「グローバルな社会課題を解決する意欲」「多様性を受容し他者と協働する能力」といった、根源的な意識・行動面に至る能力や姿勢が求められ、「働くこと」の意味や「組織」の意味付けが問い直され新たな未来を牽引する人材が求められます。それは、好きなことにのめり込んで豊かな発想や専門性を身に付け多様な他者と協働しながら、新たな価値やビジョンを創造し、社会・生活課題に「新しい解」を生み出せる人材であり、そうした人材は「育てられる」のではなく、ある一定の環境の中で「自ら育つ」という視点が重要となります。

好きなことに夢中になれる教育へ転換するためには、一律・一斉で画一的な知識を詰め込むという従来の考えを改め、一人一人の認知特性・興味関心・家庭環境の多様性を前提に、時間・空間・教材・コーチ（先生）の組み合わせの自由度を高める方向に転換し、子どもたちが好きなことに繰り返し挑戦したくなる機会を増やしていくことが必要となります。

現在、小学校以降の生活や学習の基盤は、幼児期の自発的な活動としての遊びを通した学びが重要とされています。文部科学省では、幼児期の大切な学びが分かる動画をYouTubeにアップしています。この動画をご覧くださいことで、各園が取り組んでいる新たな保育の姿を垣間見ることができるとおもいます。ぜひご覧ください。

★「遊び」は「学び」って  
ということ？(7分)



★「学びの芽」を育む  
多様な遊び(9分)



遊びは学び 学びは遊び  
“やってみてが学びの芽”

出典:文部科学省ホームページ  
<https://www.mext.go.jp/>

# 子どもたちを危うい情報から守るために必要なこと ～ネットリテラシーを親子で語るために～

2025年11月27日(木) 神奈川県立音楽堂

●受付/9:30～ ●開会式/10:00～10:40 ●講演/10:40～12:00

講師

堀

潤 氏

特定非営利活動法人 8bitNews 代表理事

株式会社わたしをことばにする研究所代表取締役  
ジャーナリスト

紅葉の美しい季節に、今年度も県立音楽堂にて対面とYouTubeによるアーカイブ配信での研修大会が開催されました。当日は県内全域から大変多くの皆様にお越しいただきました。開会式では、はじめに父母の会連合会副会長・葛西桃子による開会の言葉、続いて父母の会連合会・田中千鶴会長、神奈川県私立幼稚園連合会・木元茂会長より挨拶がありました。

また、ご来賓の方々を代表して神奈川県副知事・橋本和也様、神奈川県議会副議長・谷口かずみ様、神奈川県私立学校審議会会長・松田良昭様の3名より、ご祝辞をいただきました。私たち保護者が日々の子育てをするうえで、どれほど多くの方々の支え

に恵まれているのかを改めて感じる時間となりました。最後は、『子どもたちの健やかな成長と明るい未来を願う』宣言をもって開会式が終了しました。

講演会では、ジャーナリスト、キャスターなど多岐にわたる活動をされている堀潤さんを講師にお招きし、お話をいただきました。

日々、私たちはスマートフォンやテレビを通して膨大な情報に触れていますが、その便利さの裏に潜む危険や、情報の受け取り方の大切さを、具体的

な例を交えて丁寧に伝えてくださいました。日々の暮らしの中で私たちがどのように情報と向き合うべきかについて、多くの学びを得ることができました。特に心に残った

のは、「ニュースとは、そもそも“メディアが選んだものだけ”が流れている」という言葉です。私たちはニュースを通じて社会全体を見ているような感覚になりますが、実際には膨大な出来事の中から、メディアが選び出した一部だけが私たちの前に現れているに過ぎません。この前提を忘れてしまうと、世界を偏った視点で捉えてしまう危険性があると感じました。

また、堀さんは「主語が大きい情報ほど不正確になりやすい」と指摘されていました。「最近の子どもは～」「日本人は～」という大きな主語の言い切りは、実際にはごく一部の例を拡大して語っていることが多く、私たち自身も知らず知らずのうちに、その言葉に引きずられてしまいがちです。そうした“大きな主語の情報”に触れたときこそ、「本当にそうだろうか？」と一度立ち止まり、冷静に考えることが大切だというお話が印象的でした。

時代が大きく変化し、不安や混乱も多い今だからこそ、情報をそのまま鵜呑みにして「自分を委ねてしまう」ことの危うさを強調されていました。情



報の真偽が曖昧なまま広がるSNSの特性を踏まえると、私たち自身の「考える力」がこれまで以上に求められています。何かを見聞きしたとき、すぐに反応するのではなく、「これは事実なのか」「この意見は誰の視点なのか」と立ち止まって考える姿勢を大切にしたいと思いました。

最後に、そんなデジタル情報に偏りがちな今こそ、「現実世界の隣の人とよく話すことが大切」と仰っていました。画面の中の第三者の言葉よりも、目の前の人が語る体験や地域の出来事こそが、確かな情報として大切です。大きな規模の話だけではなく、子育て中の私たちにとっても、周囲の保護者や地域の方々と日常の中で対話を重ねること、それによ

って初めて見えてくる現実があるのだと実感しました。そして、子どもたちにとっても“リアルを見て知る力”は欠かせません。画面越しの刺激的な情報よりも、友達との関わり、先生とのやりとり、地域での体験など、実際に身体で感じる経験こそが子どもの価値観を育てます。大人が、情報を鵜呑みにせず考える姿勢を示すことで、子どもたちも自然と「なぜ？」を大切にできるようになると感じました。



今回の講演を通して、私自身、日々の情報との向き合い方を改めて見つめ直すことができました。これからは、ニュースを見ても「これは選ばれた情報である」

という前提を忘れず、情報に身を委ねすぎないように気を付けたいです。そして、家庭でも地域でも、人と直接言葉を交わしながら、子どもたちの“本物を見る目”を育てていきたいと強く感じました。今回、貴重なお話を拝聴できる機会に恵まれましたことに感謝するとともに、今後の子どもたちと過ごす時間に役立てていただけたら幸いです。

(文責 神奈川県私立幼稚園父母の会連合会副会長 葛西桃子)

## 2025年度父母の会連合会研修大会 アーカイブ配信

配信期間 2025年12月4日(木)～2026年1月3日(土)

URL : <https://www.shinshiyou.com/parents.html>

ID : fubokai / PW : 1127

※限定公開のため、ID/PWは園保護者様限りでお願いします。



## 県父母連委員総会報告

神奈川県私立幼稚園父母の会連合会の委員総会が6月27日にかながわようちえん会館会議室で開催され、令和7年度常任委員が右記のとおりに出されました。よろしくお願いたします。



## 令和7年度父母の会連合会常任委員名簿

役職	氏名	園名	協会
会長	田中千鶴	善隣館幼稚園	横浜
副会長	葛西桃子	セント・メリー幼稚園	横浜
副会長	小林武史	川崎青葉幼稚園	川崎
会計	河野友美	認定こども園 高木学園附属幼稚園	横浜
会計	生沼有杏	れんげ幼稚園	小田原
委員	安達瑠璃子	かぐのみ幼稚園	逗葉
委員	前川知佳	認定こども園厚木のぞみ幼稚園	厚木
監事	後田麻奈世	ひばり幼稚園	川崎

## 教育相談事業

子育てに悩みはつきもの。子育ての悩みは「育ちの専門家」へ。神奈川県私立幼稚園連合会では、発達専門家 臨床発達心理士が無料でお悩みをお聞きます。ご予約をお待ちしています。

●実施曜日 毎週 火曜日 10:00～12:00/13:00～15:00  
毎週 木曜日 10:00～12:00

詳細についてはホームページをご覧ください。

●相談申込 電話またはホームページから、神奈川県私立幼稚園連合会事務局へお申込みください。

TEL. 045-440-3210

●ホームページ

<http://www.shinshiyou.com/education.html>